

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうす守谷教室			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 9日 ～ 2025年 12月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数)	47
○従業者評価実施期間	2025年 12月 9日 ～ 2025年 12月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	15
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 30日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教室の面積が広く確保されており、また作業療法士・言語聴覚士・保育士と様々な資格やスキル、経歴をもつ職員が多くいます。その為、集団支援だけではなく、個別支援などにも積極的に取り組むことが出来ています。	こばんはうすでは集団療育がメインの為、一日を通して決まったプログラムや活動を通して、支援をしております。しかし、専門職の職員が多くいる事で、必要な児童へは個別支援や小集団という形での支援を行っています。	児童だけではなく、保護者様に対してもペアレントトレーニングという形でご家庭で出来る支援などを積極的に共有していきたいと思います。以前よりも面談時などに触れることは出来ていますが、よりご家庭でも可能な支援や助言が、適切な職員から行われると、より包括的な支援に繋がると考えます。
2	毎月、または少なくとも2か月に一度という頻度で、様々な研修を行うことが出来ています。その中には義務化されている研修もありますが、それとは別に、より具体的な障がい特性や、支援の方法などについての社内研修を行うことが出来ています。	研修については年間でスケジュールを立てて、その計画に沿って定期的に開催を行うことが出来ています。また、必要に応じて外部研修などに参加する機会も設けることが出来ており、そこでの学びや研修内容を、そこに参加していない他の職員へも伝達出来るように回覧に回しています。	引き続き計画的に研修を行っていくことで、職員のスキルや知識向上を図っていきます。またそれに伴って、しっかりとその学びが現場で生きよう環境を整えてまいります。
3	定期的に保護者面談を行うことで、保護者様に直接事業所でのお子様の様子を見ていただいたり、支援についてのすり合わせや情報交換を行うことが出来ています。	一年の中で決まった期間を予め保護者面談期間として設定することで、定期的な開催を行なうことが出来ています。	採用活動や研修などを通して、職員の人数やスキル面での向上を目指し、より時間を取って保護者面談や意見交換が出来る機会を増やしていきたいと思っています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	プログラムや活動に関して、手指操作や制作が比較的多くなる月もあり、少し偏りが出てしまう時があります。	常勤の職員や、特定の職員が基本的に立案を行うことで、プログラムや活動のスケジュール作成を行っています。その為、職員の得意分野ややりたいことなどによってプログラム内容の偏りが生じてしまっているのではと考えます。	非常勤の職員の方などへも、プログラム内容や活動内容の提案を行っていたり、より包括的で様々な領域の活動が行えるように取り組んでまいります。
2	現状、他教室や相談支援員の方を交えた、ケース会議や相談支援会議の開催頻度が少なくなっています。	感染症対策などの観点から複数の事業所が集まった開催が難しい時もあります。また、職員が現場に出る必要がある時には、参加が難しい時もあります。	相談支援員の方や他事業所の職員の方と連携を取りながら、必要な時に話し合いが出来る環境を整えてまいります。
3	家族支援プログラムや父母の会、ペアレントトレーニングなど、児童ではなく保護者様に対しての参加機会が確保できておりません。	一日を通してご利用の児童がいるため、教室の空いている部屋の確保や、対応できる職員の確保などが課題として挙げられます。	保護者様からのご希望やニーズがどれくらいあるのかということ把握し、必要に応じて検討・実施してまいりたいと思います。